

2016年度学校評価保護者アンケート結果について

1. アンケート結果報告

1) 設問1～5

園の方針や保育の意図は理解いただいている。縦割り保育、学年活動のA評価は5割程度となっており、様々な人間関係の中で子どもたちが育つ良さが伝わっていないことは残念である。朝の活動においても、A評価が半数となっており、時間差で登園してくる子どもたちにとって、園生活に向かう準備の時間として大切なものであり、書く、描く、糊、ハサミなどの日常的な道具を扱う機会ともなっている。活動の種類は段階を踏んで変化しているが、朝の活動でするものは1種類となっており、子どもの好みによって「やりたくない」などの声が家庭でも上がっていると聞いている。子どもの声だけでなく、保育的な意図があることをご家庭にも伝えていく必要がある。

自発遊びの評価が高いことは嬉しいことである。教師陣の日々の努力に感謝したい。

2) 設問6, 7

園からの情報発信は、A評価が最近減少傾向にあり、今回も4割程度となった。これは、幼稚園が伝えたい情報と、保護者が得たい情報に質的な差があると考えられる。園としては園の保育を理解していただくために必要な情報や子どもの成長を伝えたいと考えているが、保護者は我が子の日々の生活の様子や具体的な姿を知りたがっているズレがある。今後、園として伝えたいことと保護者が求めている情報を、懇談や発行物などを上手く使い分けながら、両者にとってよりよい方法を模索していきたい。園から発行しているお便り関係では、情報が分散されているなど改善点も見えている。たくさんのお便りからの情報を精査し、懇談なども上手に用いながら、端的に、しかし的確に伝わる方法を探りつつ、改善したい。

3) 設問8

園の行事は、特に北光幼稚園の特徴のであるクリスマス礼拝では、高い評価をいただいた。収穫感謝遠足の数字が少し停滞したのは、お天気に左右される行事のためと考えられる。(近年働くお母さんも増え、雨天時の振替分も仕事を休まなくてはならない等。)そして、子どもたちの姿から成長を感じる他の行事とは本質が異なるからと思われる。

4) 設問9～13

おおむね良い評価をいただいた。しかし、室内外の環境の評価は低い。園舎の古さというよりも、外回りの整理整頓への評価である。収穫後の畑の後始末、草刈り、樹木の剪定など行うことができなかった。来年度早々に樹木の剪定を予定しており、物置の撤去、設置も検討している。園庭周りの草ぬきが当面の課題である。シルバー人材センターに頼むなど、整備に心がけたい。また、園舎内のステンドグラスがはがれてきているところがあり、ケガの危険もあるため、来年度はそのことも整備したい。

支援弁当については利用のない家庭も半数近くあるが、利用されている家庭では定着しつつあ

る。支援事業システムとしての役割は果たされているのではないかと考える。預かり保育は利用者が増え、担当者も二人体制としている。以前よりも就労家庭が増えており、長期休暇でも利用希望が増えている。預かり担当の人材確保など、より安定した保育の展開をし安心して利用いただけるよう、対応したい。

2. 自己評価

2016年度は、園長、保育スタッフ4名、預かりスタッフ2名、清掃職員1名を新たに迎えてのスタートとなった。これまでの北光幼稚園の保育を知るスタッフが少ない中、本園の目指す保育の在り方を様々な場面で丁寧に確認しつつ進めていく必要があった。様々な勤務形態をもつ職員が多い中での保育であったが、職員会議、日々の話合いの時間で子どもたちの現状と保育の状況を分析し、丁寧な保育を心がけた。

また、園内研修をはじめ、キリスト教保育連盟の講習、週一回の聖書研究会、毎朝の礼拝など、保育者たちは研鑽を積んだ。「神様が与えて下さった一人ひとりの個性と命を大切にする」という建学の精神に立ち、保育を通して一人ひとりの子どもに対し丁寧に寄り添いながら関わりあった。そのことが保護者アンケートにも現れている。保護者の方々の保育方針の理解、本園が保育の柱としている自発遊びの評価が高いことは嬉しい結果である。来年度の在園数はすでに定員を超えた85名でのスタートとなっている。園児を与えられて感謝だが、保護者間での口コミによる問い合わせも多く、これまでの北光幼稚園の保育が評価された結果でもあると思う。

しかし、アンケートの結果から本園の保育的な意図が伝わり切れていない状況があるのは残念である。懇談の持ち方、お便りの方法など来年度の課題としたい。

また、環境面でも低い評価となった。新年度早々に樹木の剪定を行うことが決まっているが、日々の園庭の整備に心がけたい。

一時預かり事業としての預かり保育に完全移行していく時期にあるが、開設日数を増やし、専任スタッフも増員した。しかし長期休暇でのスタッフの確保が安定していないことや、北光幼稚園の見学の精神を預かりスタッフにまで周知することは難しく、普段の保育と預かり保育のつながりを持たせることが次年度の課題である。利用する子どもたちにとって豊かな成長の場となるよう努力したい。

ご意見とお答え（全保護者様に配布済）

I. 保育

1. 保育内容

- ① ある園児が先生の事を下の名前の呼び捨てや“ちゃん”付けで呼んでいるのを見て驚きました。北光では特に気にする事ではないのでしょうか？（もちろん、そもそもは家庭内で注意されるべき事だと思います。）子どもが他の子に下の名前を呼びすてにされている事が気になります。我が家では子どもが相手呼びすてにしていたら注意すると思います。園側としては“親しさの表れ”ということになるのかと思いますが、基本的に“呼びすて”は「目上から目下にするものであって、聞いていてあまり気分のいいものではありません。（こういう風に思う人もいるという事を理解してほしくて書きました。小学生になり親しみを込めて言う事についてはこの限りではありません。あくまで幼稚園で、ということです）」

《お答え》

ご意見を真摯に受け止めたいと思います。幼稚園としての思いを述べさせていただくと、北光幼稚園では、「園にいるすべての子ども、教職員が仲間」と捉えています。一日の半分近くの時間を一緒に過ごす仲間とどのように関係を築いていくのか、グローバルな社会をこれから歩んでいく子どもたちにとって、大切な能力の一つでしょう。幼稚園ではそのことをクラス活動、学年活動、自発あそびなどで出会う様々な友だちや先生との関わりを通して育んでいくことを目指しています。そこには年齢や性別、様々な家庭の背景にとらわれることなく、一人の大切な私の仲間という親しみを込めて、お友だちの名前を呼んでいます。もちろんそこには相手に対する尊敬を持つことも大切であることを子どもたちに伝えていきます。「親しき中にも礼儀あり」でもあまりにも失礼なことがあれば、これからも子どもたちと確認し合うことを大切にしたいと思います。ご意見をありがとうございました。

- ② 外遊びが少ないように感じます。1日1回は外での時間を作ってほしいと思います。体力づくりは幼児期にとっても大切だと思います。

《お答え》

ご意見をありがとうございます。北光幼稚園では、その時その時の子どもたちの様子やこんな経験をもっとしたらより良くなる、ということを経験を重ね、カリキュラムを作成しております。その中でどうしても外遊びの少ない時期もあるかと思いますが、なるべく経験が偏らないように配慮しています。これからもお天気の良い日には外遊びも積極的に取り入れていくよう努めます。

- ③ 季節感があまりかんじられない。園の方針や様々な配慮があるのですが、園児のほとんどが日本人として生まれて、これからも日本人として生活していくので、幼稚園のお友だちや先生方と、節句や七夕、節分などに触れて楽しめたら、とても心に残ると思う。

《お答え》

ご意見をありがとうございます。それぞれの節句、七夕、節分は、例えばお泊り会、北光フェスタ、卒園式と北光幼稚園での子どもたちの成長にとって大切にしたいものと重なり、すべてに力を入れた行事として行うことが難しい現状です。園全体として節句、七夕、節分の行事とするのは難しいですが、日本の文化継承は大切なものであると思いますし、クラスや学年の活動として今後取り入れていくようにして参りたいと思います。

- ④ 楽器を取り入れる授業を入れてほしい。年長になったら字の授業を入れてもいいと思います。

《お答え》

幼児期という柔軟で、可能性に満ちている大切な時期に、小学校からスタートする学習への備えをすることは大切であると思います。北光幼稚園では、楽器や字の授業を保育者、教師から一方的に教えることは致しません。それは、幼児期の子どもたちにとって、教え込まれることが大切な時であるとは捉えていないからです。しかし、自発あそびなどを通し、例えばお店屋さんごっこをするとき、メニュー表を作るために文字を学んだり、お金を作るときに数字を書いたり、計算したり、または「ブレーメンの音楽隊」などの絵本の中に入り込んで楽器を自分たちで作成、演奏する、と子どもたち自身が自発的にそれらに興味をもち、遊びを通して自然に学ぶこと

が多く、の場面で見られます。何ができるようになったか、というよりも、子どもたちの人格、魂をどのように大事に育てていくかということをお大事にしたいと思っています。何より幼児期にしかできないこと、この時期に大切にしなければならないことは何かということをお教職員で日々模索し、見極めておりますが、これからも丁寧にカリキュラムをお検討してまいります。

2. 保育時間

- ① 4月の午前保育期間を少しだけ短くしてほしい。週3と午後保育と段階的にしていかななくてもよいと思う。(忙しいと、曜日と午後保育の日が分からなくなってしまうため)

《お答え》

ご意見をありがとうございます。4月は新しい環境を迎えた子どもたちにとって、一番負担が少なく、幼稚園へ行くのが嫌にならないように、と配慮をしています。曜日によって降園時間が異なりご不便をおかけしておりますが、来年度はお便り等を検討し、より見やすく分かりやすいものにして参りたいと思います。また、ご不便がありましたらお知らせください。

II. ひよこクラス

- ① ひよこクラスが母子別になればもっと利用しやすい人もいます(実際、母子一緒に週2回はしんどいからやめておく…という話を聞きます。)

《お答え》

ひよこクラスでは、お母さまやご家族の方と一緒に活動されることを大切にしております。お子さんの大好きなご家族と一緒に幼稚園に来て、一緒に活動をたのしみ、ここは安心できる場所、楽しい場所ということをおまず感じていただきたいと思っております。慣れて来られ、入園に向けた年度末には、ご家族の方に遠くから見守っていただき、子どもたちだけの活動も取り入れております。ご家族の方にはご負担をおかけすることもあるかと思っておりますが、この時期にしか味わうことの出来ないお子さんとの触れあいを大切に、またお子さんたちにとって園生活が楽しいものとなりますよう、ご理解、サポートをいただけたらと思っております。

III. 行事

1. お泊り会

- ① お泊り会。まだこれから2回参加させてもうんですが、朝のお迎えの時間が早くて困ります。他の園と比較するのは変ですが、せめてお泊りの醍醐味として朝ごはんは皆で食べられたらいいかなあと思っております。子どもは何でも楽しむので、親としての希望です。先生たちは大変かと思っておりますが、上の子の時はあったので。もしもできないなら、なぜなくなったのか理由が知りたいと思っておりました。朝ごはんが大変だからじゃなくて、“おとまり”するなら朝ごはんまで食べたら“目が覚めて、お友だちがいて、朝ご飯も一緒”が“お泊り会”かなと。

《お答え》

早朝のお迎えは申し訳なく思っております。その年、その時の学年のカラーがあり、毎年そのことを踏まえてお泊り会を計画しております。年によっては朝ごはんまで一緒に食べる場合もありますし、軽食のみで終わるときもあります。理由としては、その年の子どもたちにとって一番成長できるプログラムを考えているためです。朝起きて、家族と離れて一人でお友だちと泊まる事が出来たという自信を持って、そのことをすぐにご家族と分かち合いたいと思う子どもたちです。緊張がほぐれた中でご家族の方と一緒にゆったりと朝ごはんを食べながら、お泊り会での出来事をお話し、分かち合うことで子どもたちにとってもさらに豊かな経験となると考えています。ご要望も念頭に置きつつ、子どもたちにとって豊かな経験となるよう計画して参ります。

2. クリスマス

- ② クリスマス礼拝の内容は良かったのですが、開始時間が遅いので子どもたちが眠そうだったりつかれている様子が見えた。終わって家に帰った後のごはん時間だったり、お風呂の時間、寝る時間にまで影響があり困りました。始める時間を午前中からにしたり、時間を短くするなど、改善して頂きたいです。

《お答え》

ご協力をお感謝いたします。イエス様のお誕生を祝うクリスマスは、イエス様が生まれたのであろ

う夜に近い時間で礼拝をすることで、クリスマスの意味をさらに感じていただきたいと思います。キャンドルライトサービスのろうそくの光からも、暗闇と思われるような中であっても、必ず希望の光があること、イエス様がその光としてこの世にやってきてくださったことを知っていただきたいと思います。私たちの人生の中にも、子どもたちのこれからの歩みのなかにも困難と思われる暗闇があるかもしれませんが、必ず希望の光があることを、子どもたちの記憶の中に、あの薄暗い幼稚園のホールで行ったページェントと重ね合わせて思い起こされて欲しいと願っています。しかし、いただいたご意見を受け止め、今後検討していきたいと思っています。

3. その他

- ① 行事の時（クリスマス祝会など）に iPad などのタブレットPCで写真撮影されている方がいますが、すぐうしろに座っていると、サイズが大きいためステージが見えづらいです。タブレットPCで撮影される方は最初から後ろの席に座るとか、配慮を促せないでしょうか。

《お答え》

座席などを工夫して参りたいと思います。

- ② ほとんどの行事に関してです。子どもたちの気持ちを落ち着かせるためというのは分かりますが…、集合して30分以上待っているのは少し大変です。特に小さい妹や弟がいるところは30分の間につまらなくてぐずってしまい、結局本番の時に子どもをあやすので自分の子の出番を見れない時があります。30分以上待つのは仕方ないところもあるとは思いますが、一緒にいる小さい子への配慮があるととてもたすかります。

《お答え》

いつもご協力を感謝いたします。登園時間のお願いは、子どもたちが緊張のために持っている力を発揮できず、残念な思いをなるべくしないようにという様々な配慮があります。けれども、小さいお子様にとって待つ時間は大変であると思います。今後、絵本やおもちゃの貸し出しなど考慮したいと思います。

- ③ 上靴をもう少し持ち帰って洗えるようにしていただけるとありがたいです。学期一回ですと真っ黒でよごれも落ちにくく上靴から運動靴に変えたのですが、本来だとやはり通気性の良い上靴を使いたいと思っています。着替え袋に洋服を入れていますが、やはりこちらも月1回、例えば月末などに持ち帰る日を決めて下さると助かります。気温の変化に対応して衣服を入れてあげたいと思っています。

《お答え》

上靴は月一回、着替え袋は週末に持ち帰るよう検討いたします。

IV. お昼ご飯

1. 給食

- ① 支援弁当をもう少し子供向けにしてほしいです。

《お答え》

支援弁当のご利用をありがとうございます。支援弁当は「おかずや花」さんにお問い合わせしており、材料、調味料などこだわりを持って作ってくださっています。食育という視点から、旬の食べ物、お魚、お肉、様々な味付けなども考え、さらにその中でも子どもたちが食べやすい人気のメニューを入れてくださるなど、様々なことを考慮してくださっています。年度初めに試食会も予定しております。実際に「おかずや花」さんのスタッフの方も来てくださり、お話を伺えますのでどうぞご予定に入れて下さればと思います。よろしく願いいたします。

- ② 子どもの食べれる量に合わせて販売していただけたらと思います。

《お答え》

子どもたちの食べることが出来る量にいただき、お値段も配慮していただいております。ご飯の量を少量、普通、大盛に変更可能です。

- ③ 何度か利用して、内容・料金・子どもたちの満足度など、本当に良い物だと分かりました。今後もぜひ利用したく考えているのですが、年度初めの配布物の中に「預かり保育をご利用の場合

はできたらご家庭のお弁当を～」というような記載があったと思います。このことがとても気になっていて、利用するのをためらったこともありました。私の思い違いや意味の取り違いでしたらすみません。預かり利用なので云々…というのであれば悲しいです。甘えてしまって申し訳ないのですが、遠慮の気持ちは常にあるので、できたら考慮して頂けると嬉しいです。

《お答え》

以前、水曜日のご利用をご遠慮していただいております。午前保育である水曜日は、お母さまやバスで早めに帰られるお子様方がいる中で、自分はまだ家族に会えないという寂しい気持ちをくみ取り、お母さまのぬくもりが感じられるお弁当でほっとできるのではないかと考えております。しかし、近年働かれていますお母さまも多く、今年度はご案内通り、水曜日も申し出ていただければお受けいたしておりました。来年度も同じようにお受けしたいと思っておりますので、ご利用をご検討ください。

V. 預かり保育

1. おやつ

- ① 預かり保育のおやつが少ないように思います。おせんべい2枚？ビスコ？子どもからの話なので、はっきりしたことはわかりませんが、幼児期は15時のおやつも“軽食”と考えるくらいでもよいのでは？例えば蒸しパン等…預かり料金が高くもう少しお腹にたまる物を出してほしいです。アレルギーの子もいるので、各自おやつを持参する方法もあると思います。

《お答え》

預かりでのおやつは、ご家族の方が来られるまでの軽いおやつとしています。各ご家庭でのおやつの取り方や夕食時間などがあることと思っておりますし、なるべく支障のないように考慮しております。ただし、お仕事などで18時までの預かり利用の方などは、軽食をお持ちいただくなど、対応を考えて参ります。

2. その他

- ① あずかり保育では教職員の方の数が増えて目が届いているような気がする。迎えに行ったとき、子どもがどんなふうにごろごしていただいていたのか少しでもいいから教えて頂けるとうれしいです。

《お答え》

承知いたしました。お子様たちの日中、預かりでの様子をお伝えできるよう、教職員に周知して参ります。

VI. 情報提供

1. 印刷物

- ① プリント等の間違いが多いと思います。日時・曜日などは大切なので、間違いのないようお願いいたします。（現在もバス時間のプリントも間違いがあります。）

《お答え》

今後気を付けて参ります。

- ② 行事についての内容をプリントバラバラに記載せず、1枚にまとめてほしい。

《お答え》

今後、プリント内容の見直しを図り、見やすいものを作成して参ります。

- ③ 色々な活動をしたというプリントが沢山よりも、一週間の予定表（活動表）があるといいと思います。（何日はクラス、何日は学年で外など）。活動結果のプリントは一か月まとめてほしいと思います。

《お答え》

その時々のお子様の様子を教師全員で把握しながら、今必要な活動は何かを考え、相談しながら毎日の予定を立てておりますので、一週間の予定を載せることは難しいですが、ご意見を参考にし、一目でその月の予定が分かるなど、検討して参ります。

2. 連絡等

- ① 入園し、いつスモックを持っていけばよいのか分からなかったり、週が始まってすぐに水着が必要と連絡がきたりしたので、できれば週末に教えてもらえると土日に会に行くことができるから助かるのにな…と思ったことがありました。

《お答え》

バラバラになっている情報を毎月の保育便りにまとめるなど、お伝えする方法を工夫いたします。

- ② いつお弁当が必要で、いつが不必要というのが慣れるまでわかりづらく（慣れてもややこしい）、特に不必要な日は登園時に声掛けがあればお弁当が無駄になりにくいのではと思いました。（誕生会の日など、弁当不要で持って行ってしまい、15 時ころ帰ってくると捨てることになるので）

《お答え》

ご迷惑をおかけしています。降園時間、行事等が一目でわかるようにお便りを工夫して参りたいと思います。

- ③ 感染症にかかったとき、証明書をとりのがちょっと大変。医師が「大丈夫」といっただけではやはり難しいのか？

《お答え》

お手数をお掛けしております。集団生活をしております幼稚園・小学校等では、医師の証明書が必要となっております。子どもたちの園生活を守り、感染拡大を防ぐ上で大切な証明となりますので、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3. 情報公開

- ① 幼稚園で流行している病気・症状を、もう少しわしくメールで流して欲しいです。…。

《お答え》

個人情報に関わることでありますので、慎重に必要と判断されるときにメールをさせていただいております。すべてを公開することで、かえって子どもたちに不安を抱かせることもありますので、園にお任せいただければと思います。個人的に問い合わせただけでしたらできる限りお伝えしていく所存です。

VII. 環境

- ① 屋外の環境が狭い。

《お答え》

園庭が駐車場代わりになっている状況を改善しようと検討が続けられております。子どもたちが十分に外で遊べるよう、園庭の確保、また周辺にある自然豊かな公園への散策など工夫して参ります。

- ② 「室内・屋外環境」のみDとしましたが、外のオブジェの釘が危ない気がするのと、…。

《お答え》

ご指摘、真摯に受け止めます。ご意見をありがとうございます。来年度は樹木の剪定、物置の設置など改善して参りたいと計画しております。その他にもご指摘にあったことを踏まえ、環境改善に努めます。

VIII. P T A

1. 役員の決め方

- ① P T A や野のゆりの役員について…事前にアンケートをとるのはどうでしょうか？

《お答え》

ご意見をありがとうございます。来年度に関しては準備等が間に合いませんので、従来通りさせていただきたいと思っております。再来年度以降（2018 年度）よりの案として検討させていただきます。

